

1997年4月20日 No.30

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤一郎

東京都港区新橋3-21-7 松本ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

全国一般全国協

97連帯春闘勝利！ 労基法改悪反対！ 生活破壊を許さず闘おう！

全国一般全国協議会中央執行委員会

中小春闘はこれからが本番
生活防衛の大幅賃上げを
粘り強く闘い取ろう

三月十八日、JC大手集
中回答が出され、九七春闘
は終わったかのごとく報じ
られている。未曾有の高収
益をあげている自動車で、
前年比わずか七百円アップ
の九千四百円、二・八三％
であった。ストもなく電気

鉄鋼、造船、私鉄、電力な
ど日本のトップ企業が前年
比二百～三百円アップで軒
並み妥結してしまった。し
かし、全国協に結集する多
くの中小労働組合はこれか
らが本番で、長期にわたる
闘いが続く。

消費税アップ、
特別減税打ち切りの生活圧迫を
跳ね返して闘おう！

全国協に結集する各組合
の回答状況は例年以上に厳
しい。四月一日からの消費
税アップ、減税の打ち切り
は九兆円の負担増になる。
これは国民一人当たり七万
五千円の負担増という計算
になる。

け、生活防衛の大幅賃上げ
獲得をかかげ、厳しい回答
状況を押し返す強い闘いが
必要だ。

消費税の引き上げを口実
にした公共料金の値上げが
軒並み続き、従来内税にし
ていたところが、同一価格
に五%まるまる外税につけ
るという便乗値上げもでて
きている。これに、年金改
悪、医療保険改悪にともな
う負担増が追い打ちをかけ
る。この生活圧迫をはねの

四十時間制実施を口実とした
賃金の切り下げ、
春闘押さえ込みを許すな！

週労働時間四十時間制が
この四月一日から実施され
る企業は、時短によるコス
トアップを理由に賃上げど
ころではないと主張し、超
低額回答を押しつけようと
している。

げも労働基準法上問題はな
い」なる官界表明が悪質経
営者を元気づけている。
また、「四十時間制が守
られなくとも二年間は罰則
を適用せずといねいな指導
で対応する」という労働省

労働省の「時間単価が変
わらなければ賃金の切り下

見解も、中小企業経営者間
では「猶予期間が再び二年

間延長された」と利用され
ている。

時短短縮が進んだ結果、
賃金が引き下げられる等と
いう無法がまかり通っては
たまらない。労働基準法は
これを口実に労働条件の引
き下げをしてはならないと
定めている。労働省がこれ
に逆行するような指導をす
ることは許されない。時短
完全実施を職場の闘いで勝
ち取ろう。



97春闘全国各地の闘いの報告

3/8 「期限切れ」でクビはごめんだ！ シンポジウム・有期雇用労働者の権利を考える

「期限切れでクビはごめんだ！」と、有期雇用労働者の権利を考えるシンポジウムが三月八日、東京で行われた。このシンポジウムは、全国協の中で議論されていた有期雇用労働者の権利について、他労組や弁護士、学者などに全国一般東京南部が呼びかけて開催されたもので、予想を上回る参加者で大成功をおさめた。

経営にとって必要な時に必要な期間だけ安価に働かせることができ、「終身雇用」にかわる労働者群である有期雇用労働者は、パートや派遣、契約、嘱託、非常勤などさまざまな呼称で呼ばれる。「有期」雇用であるがゆえに、低賃金、劣悪な労働条件におかれていていとも簡単に解雇されてしまいうなど無権利状態にさらされているのだ。

シンポジウムは、有期雇

3/18 五百名が労働省抗議！

三〇一八全国協中央闘争には、半日ストに突入した全国一般東京なんぶ、神奈川県連、自立労連各支部が参加した。この闘争はまた東京権利春闘の闘いに結合して闘われた。午前十一時半、東京なんぶの争議である東京外語の前に続々と仲間が集まってきた。全国一般、南部・西部権利春闘、新宿地区労の仲間、半日ストで参加した全石油の仲間、その数三百名以上。解雇者八名にプラスして新たに組

合員九名が解雇されるといふ組合潰しに怒りが沸いた。外語の学生も初めて発言し、組合員を激励した。

午後三時半、労働省前には、更に東部権利春闘の仲間も集まり、五百名が労働省を取り囲んだのである。

3/18 五百名が労働省抗議！

「九七春闘勝利、解雇制限法制定、規制緩和反対、労働法改悪を許すな」など様々な横断幕が並ぶ。全労協、各地区権利春闘の発言に続き、韓国民民主労総の代表は「国際連帯で闘おう」と挨拶した。全国協からは中岡委員長が、全国統一ストの報告と労働省への具体的闘いを訴えた。そして労働省にシュプレヒコールをたたきつけ、国労闘争・運輸省抗議行動と夜の韓国民民主労総連帯集会に結集し、一日の行動を終えたのである。

● 大阪発 ● ユニオンネット、春闘統一行動展開！

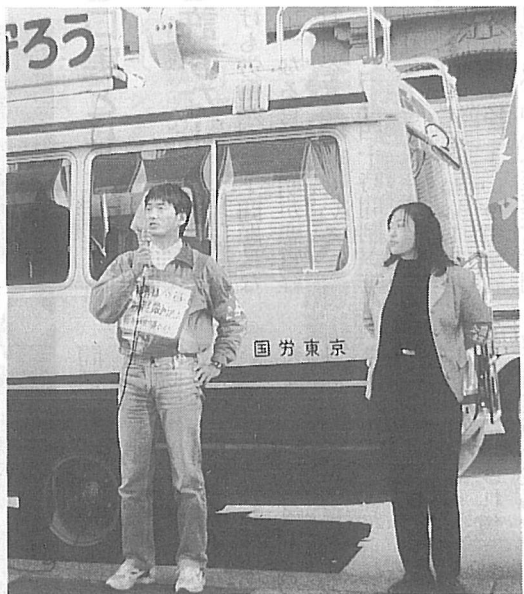
三〇一八春闘統一行動が元気に闘われた。中電に集合、電報全面委託を画策する当局に抗議し、二つの組に別れた。ストと争議現場を回るグループは、シェルのスト支援、NTTの子会

社エミッシヨン、ノヴァを助力した野村証券、関生支部の弾圧を画策するJOMOを攻めた。行政交渉に回るグループは、大阪入管に外国人労働者の権利についての要請を行ったあと、労基局、大阪労働部、教育委員会会で交渉した。労基局では、週四十時間労働制における「二年間の行政指導」と「時間が短くなる分に付いての基本給引下げ容認」について追求した。しかし当局は「労使間の問題で不介入」と責任逃れに終始したのである。また、年休の不当な時期変更権行使や、賃金不払いについて監督義務を放棄した事を追求したが、結局、人員不足で仕事を減らそうする労基局の姿勢が明らかになるばかりであった。大阪労働部では、地労委の労働委員選任の問題、公費通訳制度などの要請を行った。労働部は、選任問題で「労働団体の調整に任せてある」と居直り、連合の言いなりになる姿を暴露した。総勢二百名程度の春闘統一行動であったが、ユニオンネットの団結と連帯を強化した一日であった。

● 徳島発 ● 丸善争議支援！

私達は、徳島全労協と共に、九七春闘において、大幅賃上げ獲得を始めとし、森住丸善争議の闘い、週四十時間法制、労基法改悪阻止、未組織労働者の組織化などの闘いを進めてきた。

三〇一八全国統一行動日には早朝より四国電通合同ストライキに結集し、徳島駅前での労働相談ピラ撒き、徳島労働基準局への交渉申し入れ行動を行った。そして、三月二四日から二八日まで労働相談を行い、三月



▲ 丸善本店での抗議行動

労働省抗議！

二六日には基準局交渉も行い、徳島県内の労働時間の実際、労働法改悪に対して説明を求めた。森住丸善争議は大阪、京都、愛知の仲間の支援のもと三月八日豊田市二二への抗議行動、三月二八日丸善名古屋支店申し入れ行動、四月一日丸善大阪支店申し入れ行動を展開した。中小の仲間にとっては九七春闘はこれからだ。四月中旬、中小春闘決起集会を開催し九七春闘勝利を勝ち取っていききたい。

《奇稿》 全統一労働組合

外国人分会

「白木屋」は誠意ある対応を行え!

3/6 生活と権利のための

外国人労働者一日行動で申入れ!

居酒屋「白木屋」といえば「品数豊富、値段も手頃、駅に近い」「外国人労働者が多く働いている」など有名。その「白木屋」で昨年夏二度にわたり「大量解雇」があった。解雇された外国人労働者らは三〜四年から六〜七年「白木屋」で働いていた。夕方五時から翌朝5時まで休憩時間もなく、新しく開店するお店がチャリンをまき「四十六時間ぶっ通しで働いたよ」という労働者もいる。何年働いても有休休暇もなく、休日返上して働くこともザラであった。「居酒屋日本一」と宣伝する白木屋を支えてきたのは外国人労働者であった。

江東ユニオンに相談に来た。「社員と同じように考えている」と言っていた会社がいきなり「就労ビザがないから」となんの補償もなく一方的に解雇したのだ。団体交渉に出てきた弁護士は職場の実態を全く知らない。会社側はだんまりで居直りを続ける。

三月六日、三鷹にある「白木屋御殿」と呼ばれる本店前には約六十〜七十名の労働者が集まった。「外国人はダメ」とする警備員の差別的妨害をはねのけて中に入った代表団は「解雇された外国人労働者の要求に誠実に応え、当該労組との団体交渉に誠意をもって対応せよ」と強く申入れた。外国人労働者に対する差別を許さず、生活と権利のためがんばろう!



▲ 2/13 解決集会で左から阿部・加藤両氏

朝陽 地裁、地位保全 仮処分を決定!

私達は、組合結成を理由に昨年八月二十三日不当解雇を言い渡され、この不当解雇に対して現在、大阪地方労働委員会に不当労働行為救済の申し立てを行うと同時に、京都地方裁判所に地位保全の仮処分を行いました。一月二十九日京都地方裁判所は、私達の訴えに対して、「本件解雇は、債権者が中心となって労働組合を結成しようとする動きを察知した会社が、その

故をもってなした解雇と推認するのが相当である」との判断を下しました。会社は二名に対して様々な解雇理由を上げていました。しかし裁判所は、このような会社が解雇理由として上げた「不良品の多発」「塗装部の累積赤字」「塗料などの安全管理」等の主張が真実であれば、裕会長自身が発言した「一カ月後に再雇用する旨明言する苦もない」、整理整頓（安全も含めて

「市井無頼の徒」、コンクリートを打ち破る!

日本コンクリート工学協会 争議勝利解決報告!

日本コンクリート工学協会争議は、九三年五月に「職員会」を労働組合化したことに端を発した。組合を嫌悪した協会が東京南部との間で締結した協定を破棄したことから争議拡大の一途を辿っていった。阿部さん、加藤さんに対する陰湿な嫌がらせや賃金差別を二年余りにわたって繰り返して、あるうことか、労働委員

この争議では、協会顧問なる労務屋が東京南部委員長を「闇の世界に徘徊する市井無頼の徒」と呼ぶなど、組合敵視が全面に出された。その労務屋の暴言、迷言に対する怒りは、あるときは二人の闘いの原動力となり、あるときはともに闘う仲間との笑い話になったが、協会・労務屋の労働者への露骨な人格否定に、誇り高き労働者の精神が勝利したらしい闘いであった。ご支援ありがとうございました。

日比谷メーデー
五月一日(金)
開会・十時
会場・日比谷
野外音楽堂



▲ 4 / 6 特措法改悪反対東京集会

沖繩 特措法改悪弾劾！ 軍用地の不法占拠を許さないぞ！

橋本内閣はついに沖繩米軍用地を確保するために「特措法」の改定に着手した。この改定案は緊急使用とは名ばかりの永久使用さえ可能な法案である。それは沖繩に基地を永久固定化し、反戦地主の人たちの財産権を侵すばかりではなく、アジアと日本の平和を常に危険にさらすことになる。

平和憲法より、日米安保の方が優先するとする、橋本内閣の反動攻撃に対して、

沖繩の反戦地主会、違憲共闘、一坪地主会の人々は収用委員会の公開審理闘争を皮切りに、今上京行動など緊急行動を強めている。また韓国の反米軍基地闘争を闘う人々との連携を強めて、五・十五期限切れの立ち入り闘争への準備に全力を挙げている。私たち全国協会は三月四月大阪、東京での集会に取り組んできた。五月には沖繩への派遣も含め、各地で開催される全ての沖

縄闘争に全力で取り組もう。

◆四月二十五日(金)
護憲・沖繩集会
午後六時
会場・労働スクエア東京

いざ、沖繩
現地闘争へ！

◆五月十五日(木)
護憲共闘集会
(予定)

◆五月十六日(金)十時
基地立ち入り行動へ！

**特別減税廃止
消費税反対！
社会保険の改悪
を許さないぞ！**

四月、橋本政権は消費税を5%にアップし、特別減税を廃止した。毎月、一万から一万五千円も生活費が増えてしまう。更に、医療

保険の改悪が狙われている。保険医の定年制・定数制を導入し、入院のベット数、医師・看護婦も大幅に減らそうとしている。また、保険ではなく、歯科治療の様に自費診療を増やそうとしている。更に、健康保険の自己負担を一分から二割に引き上げ、老人の窓口負担も定額負担から毎回の定率負担に引き上げ、薬代負担も五割以上にしようというのだ。健康保険制度の赤字を、病気で病院にかからせない事、及び、かかっても保険がきかない様にする事、そして保険の自己負担も増やすことで解消しようというのである。介護保険の狙いも同じく自己負担の増加である。赤字の原因は、そもそも国庫負担を大幅に減らした事なのだ。そのくせ、軍事費やODA費の増加は止まらない。消費税の廃止を目指し、社会保険の改悪に反対しよう。政治の流れを変え、軍事費・ODA費を大幅に削減させ、社会福祉・社会保険の財源、国庫負担を大幅に増加させていこう。

寄稿 全造船関東地協 持橋 多聞

国際連帯を強め、強制連行・企業責任の闘いの勝利をかちとろう！

三月十九日、日本鋼管京浜製鉄所の門前に赤旗がなびき、シュプレヒコールがこだました。前日のJIC回答に抗議して一日行動に決起した神奈川の闘う仲間たちである。今、組合員たちはこの工場で戦争中に起きた朝鮮人青年労働者たちの大ストライキに思いを寄せ、弾圧の中で生き残り、日本鋼管を告訴した金景錫に連帯を表明している。自動車、石油、造船、ユニオンの仲間とともに韓国民主労総代表団三人の力強い挨拶に拍手がわき起こる。

全国ネットの仲間とともに闘うぞ！

私たちは鹿島建設と闘う花岡裁判と連帯するアメリカのホテル従業員組合をはじめ、確実に広がった国際連帯の波をさらに広げ、強制連行・企業責任追及の闘いに参加する、全国ネットの仲間たちとともに今年を勝利の年にしたいと考えている。みなさんの協力と参加を心から訴えます。

在日韓国人・フィリピン人元「慰安婦」補償請求裁判

五月十六日(木)
十時・東京
地裁前集合